

氏名	乙 倉 巍
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1435 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和58年12月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学 位 論 文 題 目	岡山県における日本脳炎の疫学的研究 第一編 日本脳炎の流行時期の予測について 第二編 日本脳炎致命率の統計学的解析
論 文 審 査 委 員	教授 青山英康    教授 木村郁郎    教授 新居志郎

### 学位論文内容の要旨

日本脳炎の流行時期の予測と致命率を中心に疫学的研究を行った。

第1編では日本脳炎（以下日脳と略す）の流行時期の予測について疫学的に検討した。まず、野外日本脳炎ウイルスの出現時期を予防対策の可能な時期に予測するために、豚血清2-ME反応出現時期及び早期のコガタイエ蚊数より、豚50% HI 反応陽性化日を推定する重回帰方程式を作成した。次いで、豚50% HI 反応陽性化日とコガタイエ蚊のピーク日より、脳炎患者反応の median を推定する重回帰方程式を作成し、日脳の早期予防対策の指針を与えた。

第2編では日本脳炎致命率の統計的解析を行った。前期群（昭和25～30年）、後期群（昭和32～45年）の致命率の比較を行い、後期群の致命率が前期群のそれと比較して有意に低いことを認めた。また、両群何れも加齢と共に致命率が高くなる事より、老人の日脳患者の予防・治療について特に配慮が必要なことを示している。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は、岡山県における日本脳炎の流行時期を予防対策の可能な時期に予測するための方程式を作成するとともに、日本脳炎の致命率についても検討し、性による差なく加齢に伴って高くなることを統計的に証明した。これらの知見は、岡山県における日本脳炎対策を立てるうえで重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。